

1. 件 名：関西電力株式会社の令和5年度支援組織との連携訓練（原子力事業者防災訓練の要素訓練）の事前説明について

2. 日 時：令和5年10月4日(水) 16時00分～17時20分

3. 場 所：原子力規制庁3階 室内会議卓

4. 出席者（テレビ会議システムによる出席）

原子力規制庁

緊急事案対策室

反町専門職、澤村専門官、酒井専門職、嶋崎専門官

大飯原子力規制事務所

城内所長、西村専門官

高浜原子力規制事務所

山崎専門官、高岡専門官

関西電力株式会社

原子力事業本部安全・防災グループ マネージャー他2名

中国電力株式会社

電源事業本部原子力運営グループ 副長他2名

四国電力株式会社

原子力本部管理グループ グループリーダー他3名

九州電力株式会社

原子力発電本部原子力防災グループ 副長他1名

5. 要 旨

関西電力株式会社から、令和5年10月20日に、福井県原子力防災訓練（高浜発電所対象）に合わせて実施が予定されている同社の令和5年度支援組織との連携訓練（原子力事業者防災訓練の要素訓練）の計画概要について、資料に基づき以下の説明があった。

- ・ 訓練内容及び訓練の位置づけ
- ・ 訓練の目的、目標設定、達成基準等
- ・ 評価基準

原子力規制庁及び事業者間ピアレビューを行う中国電力株式会社・四国電力株式会社・九州電力株式会社から以下についてコメントし、関西電力株式会社から本日の面談を踏まえ対応する旨の回答があった。

- ・ 今回の訓練の対象となる組織体制に関して、関西電力株式会社と原子力緊急事態支援組織として協定を締結している関電プラントとの関

係や訓練参加範囲等について、評価者が理解し易いように整理すること。

- ・達成基準に係る評価が的確に実施できるように、評価者に前線施設の設置・運営に係る手順書の内容を提示し、手順書に従って今回の訓練で実動する範囲とダミーでコントローラが条件付与する範囲を整理すること。また訓練難易度の設定について、整理して示すこと。
- ・評価チェックシートについて、手順書に従っているかの確認や前回気づき事項を踏まえた確認など、達成基準との対応が明確になるよう作成すること。
- ・訓練評価に当たって、評価者との間で訓練当日の現場でのロジの調整を進めること。

6. その他

配布資料：

資料 令和5年度支援組織との連携訓練（前線施設の設置・運営）（関西電力株式会社）